**2024 年 1 月改訂(第 3 版)
*2021 年 11 月改訂(第 2 版)

届出番号：17B2X10001001289

機械器具（74）医薬品注入器
一般医療機器　手動式圧注入調節装置　JMDN コード：13100001

# リセラ インフューザーバッグ

**【警告】**

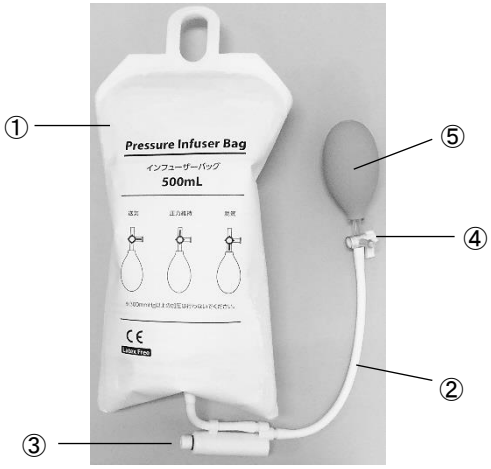
使用する前に輸液バッグ内の空気を必ず取り除くこと。[輸液バッグ内の空気がラインに注入されると、空気塞栓を起こすおそれがある。]

**【禁忌･禁止】**

<併用医療機器>
送気球以外の方法（電動ポンプ、院内配管等）で加圧を行わないこと。[急激な加圧により、袋の破裂など故障のおそれがある。]

**【形状・構造及び原理等】**

1. 形状・構造
以下のとおり。適応容量：500 mL




| | |
|---|---|
| ① | バッグ |
| ② | チューブ |
| ③ | 圧力ゲージ |
| ④ | 三方活栓 |
| ⑤ | 送気球 |

2. 原材料
バッグ：TPU(ナイロンコーティング)、ポリエステル
チューブ、送気球：PVC
圧力ゲージ、三方活栓：ABS

3. 包装
1 個 / 袋

**【使用目的又は効果】**

輸液ライン中の血液の凝固、逆流を防ぐために輸液バッグに圧力を加え輸液の滴下を調整する。

**【使用方法等】**

[使用方法]
1) 輸液バッグ内の空気を取り除く。
2) 輸液バッグ 1 個を背面のネット部に入れる。
3) 輸液バッグの止め具を加圧バッグ側のフックに引っ掛け、加圧バッグを I.V. ポールなどに吊り下げる。
4) 三方活栓のハンドルを“送気”の方向に合わせ、送気球を操作して、圧力ゲージが必要とされる圧力を示すまで加圧する。
5) 三方活栓のハンドルを“圧力維持”の方向に合わせ、輸液の滴下を行う。
6) 終了後は三方活栓のハンドルを“脱気”の方向に合わせ、空気を抜く。

[使用方法に関する使用上の注意]
・使用中は輸液の残量に注意すること。
・使用中は圧力を定期的に確認すること。
・輸液バッグや加圧バッグ内に均一の圧がかかるように正確に装着すること。
・300 mmHg 以上の加圧は行わないこと。

**【使用上の注意】**

1) 相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)
[併用禁忌](併用しないこと)

| 医療機器の名称等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 |
|---|---|---|
| 送気球以外（電動ポンプ、院内配管等） | 使用禁止 | 急激な加圧により、袋の破裂など故障のおそれがある。 |

**【保管方法及び有効期間等】**

・水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所を避けて保管すること。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：株式会社歯愛メディカル
住所：石川県能美市福島町に 152 番地

製造業者：Suzhou Minhua Medical Apparatus Supplies Co., Ltd.
（スーチョウミンファメディカルアパラタスサプライ社）
製造国：中華人民共和国